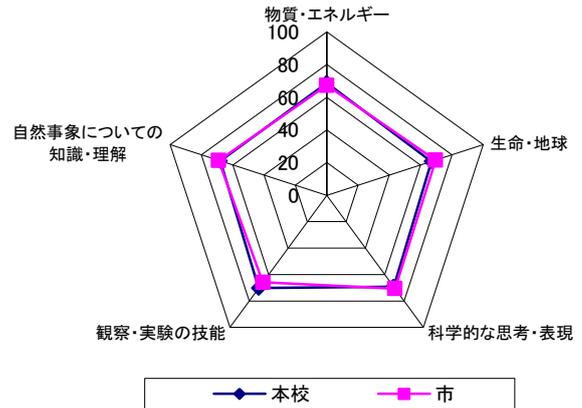


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	68.8	67.3
	生命・地球	67.0	69.5
観点別	科学的な思考・表現	69.2	70.6
	観察・実験の技能	70.3	65.9
	自然事象についての知識・理解	67.9	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりこが1往復する時間の求め方や、電流の向きが逆にしたときに電磁石の極が逆になること、空気中の気体の体積の割合などの問題については、市や全国の正答率を大きく上回っている。一方で、溶け残った食塩のすべてを溶かす方法や個体が溶けた2種類の水溶液を区別する方法方法を求める問題については、正答率が低い傾向にあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ実験や観察などの体験活動を多く取り入れていく。さらに、それらから得た結果をグループで話し合いながら考察していく過程を大切にすることで、一人一人の思考判断力を高める手立てとしていく。さらに、授業の流れや自らの考えが見えるようなノートの活用を指導していく。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ・人の子どもが育つ順序や日光による葉のはたらきを調べる実験で、アルミニウムで覆ったままの葉を用意する理由を求める問題については、100%の正答率であった。一方で、太陽と月の見え方から太陽・地球・月の位置関係を判断したり、月の形を想像したりする問題については、正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽や地球、月などの自然を対象にしたものについては、模擬的な実験や観察になるために子ども達の想像力をはたらかせる必要がある。そのため、映像やアニメーションを効果的に活用しながら、授業を進めていくようにする。